



2026 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社 U N I V A ・ O a k ホールディングス

代表者名 代表取締役会長兼社長グループCEO 稲葉 秀二

(コード：3113 東証スタンダード)

問合せ先 取締役グループCFO

作田 陽介

(TEL. 03-6682-9884)

連結子会社 UNIVA Hong Kong Trading Limited における西洋薬卸売免許申請に関するお知らせ

当社連結子会社 UNIVA Hong Kong Trading Limited (本社：香港、代表者：Director 林宏昭、以下「UHKT 社」といいます。) は、当社グループのトレーディング事業の中核会社の 1 つとして、香港特別行政区政府より「医薬品（漢方薬）の卸売免許」を取得のうえ、漢方薬・健康関連商品の卸売事業を展開していますが、このたび、さらなる業容拡大を目指し香港特別行政区政府へ西洋薬に関する卸売免許 (Wholesale Dealer Licence、以下「WDL」といいます。) を申請し受理されましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、今後香港当局の審査を経て当該免許を取得のうえ西洋薬卸売事業を開始する予定です。

記

1. UHKT 社の事業展開

UHKT 社は、2025 年 4 月の当社による連結子会社化を経て、2025 年 9 月に Chinese Medicine Ordinance 第 135 条に基づく香港における医薬品（漢方薬）の卸売免許 (WHOLESALE LICENCE PROPRIETARY CHINESE MEDICINES) を取得し、香港製の中成薬（漢方薬）や健康関連商品を中国国内の大手 EC プラットフォームである天猫 (Tmall)、京東 (JD.com) 及びアリババヘルス (Alibaba Health) への卸販売を展開しております。

斯かる状況下、UHKT 社は、今後の事業展開の方針として、現状の漢方薬・保健食品の卸売基盤を確立したうえで、販売チャネルと取扱カテゴリーを拡大し、自社ブランドや運営代行サービスも展開することにより 3 年後のクロスボーダー・ヘルスケア商社化を目指しております。具体的には、

- (1) 2026 年を「基盤拡大」フェーズと位置づけ、漢方薬と保健食品の「二本柱体制」を確立してまいります。
- (2) 2027 年を「販路多角化」フェーズと位置づけ、漢方薬・保健食品・日本ブランドの「三本柱体制」を確立してまいります。
- (3) 2028 年を「収益構造高度化」フェーズと位置づけ、卸売・プライベートブランドの投入・中国市場運営代行サービスへの参入を目指してまいります。

UHKT 社はこのロードマップを踏まえ、本年 2026 年において、漢方薬事業をさらに深化させると共に、保健食品、西洋薬へ取扱領域を拡大していくことを目的として、具体的には、漢方薬における新ブランドの販売準備、海外保健食品の拡販、西洋薬卸売免許の申請を 3 本柱として来年以降の成長基盤を構築しており、既に

- ①漢方薬における新ブランドの販売準備については、位元堂（1897 年広州にて創業、1952 年に香港へ移転）及び農本方（1998 年設立、2015 年に香港証券取引所メインボードへ上場、銘柄コード 1498）の 2 ブランドについて、取扱契約を締結済みであり、現在は商品登録、販売条件の確定及び商流の最終確認を進めており、完了次第、既存の販路・物流を用いて販売を開始する予定です。
- ②海外保健食品の拡販については、ドイツ製の保健食品の取り扱いを開始しております。

2. 今般の西洋薬卸売免許の申請

今般 UHKT 社は、前述の 2 本の柱に続く第 3 の柱として、西洋薬の卸売・輸出入を行うために必須の免許である WDL の申請を行いました。なお、香港の医薬品規制は『中医薬条例』（第 549 章）と『薬剤業及毒薬条例』（第 138 章）の二本立てとなっており、今般免許申請を行いました西洋薬は後者に基づく「薬剤製品（pharmaceutical product）」となります。UHKT 社が既に保有する漢方薬の卸売免許は前者に基づくものであり、当該免許では西洋薬の取扱いができないことから今般の免許申請に至ったものです。

UHKT 社は、本免許の取得を通じ、現時点で以下の香港で登録済みの薬剤製品 2 品目の卸売を予定しております（いずれも、卸売に当たっては各登録証保有者との契約が条件となります）。

- ・ **樂信感冒靈（Advance Neosed Tablets）**

製造者・登録証保有者：Advance Pharmaceutical Company Limited（香港の製造業者）

用途：感冒症状の緩和

- ・ **皇漢堂便秘丸（BEAULUCK A GASTRO-RESISTANT TABLETS 5MG）**

製造者：皇漢堂製薬（日本）、香港の登録証保有者：Japan Pharmaceutical Trading Limited

用途：便秘薬

3. 西洋薬卸売免許の効果

UHKT 社は現在 150 以上の在庫商品を取り扱っておりますが、その構成は『中医薬条例』に基づく漢方薬及び医薬品規制の対象外である保健食品であり、いずれも薬剤製品を含まないため西洋薬としてのみ流通し得る領域が商品ラインナップから外れている状況です。一方で、中国国内の大手 EC プラットフォームである天猫（Tmall）、京東（JD.com）及びアリババヘルス（Alibaba Health）との販売接点及び仕入から物流・EC 運営に至る商流は既に構築済みです。

以上のようなことから、UHKT 社は、販路・物流・人員は稼働しているにもかかわらず、西洋薬という商品だけが制度の障壁により止まっている状況にあります。

今般の WDL 取得はこの制約を外すものであり、既存の EC プラットフォームとの取引関係や物流・運営基盤を活用しながら、取扱商品の拡充を図ることが可能になることから、既存基盤の稼働率を高める施策として位置づけられます。

また、調達面における効果として、漢方薬の枠内では仕入先は事実上香港・中国の伝統ブランドに限

られますが、WDL取得後は香港において正規登録された薬剤製品であれば、必要な許認可・契約その他の要件を満たすことを前提として、香港製品に限らず海外製品も取扱対象とすることが可能となります。したがって、WDL取得後は香港製品に限らず、日本をはじめとする各国の優れた西洋薬の取り扱いが可能となり、さらに斯かる拡がりには、特定カテゴリーの市場変動や規制変更に対するリスク分散にも寄与するものと考えております。

4. 今後の予定

今回の申請は香港当局において滞りなく受理されており、今後所定の審査を経て 2027 年 4 月までには免許を取得できる見込みです。

5. UNIVA・Oak ホールディングスグループとしての取組み

当社グループは、2025年4月のUHKT社の子会社化を機にトレーディング事業に本格参入を開始、その後2026年4月にはナチュラループラスブランド製品の卸売を取り扱うUNIVA Marketing Limitedを子会社化しその事業領域を着実に拡大しております。そして、斯かる拡大は、当社グループの第2次中期経営計画のグループ成長戦略に適うものであり、また第2次中期経営計画の数値目標である「25・2・60」の達成に大きく資するものと考えております。

当社は、引き続き UHKT 社のグローバルな供給・販売ネットワークを活用した安定的な商品供給と販売機会の拡大を通じて、トレーディング事業の拡大及び収益基盤の強化を図り企業価値の向上に向けて注力してまいります。

6. 今後の見通し

本件による連結業績への影響については、軽微と見込んでおります。

以 上